



# 乗りこえる、ということ。

気がつけば、あちこちできれいに咲いていた紫陽花も、そろそろ終わりを迎えようとしています。紫陽花が咲き始めた先月下旬の2年生の鎌倉校外学習を皮切りに、1年生のマザー牧場での校外学習、今月上旬の3年生の関西方面への修学旅行、と旅行行事が続き、先週には1組が一宮少年自然の家で行われた特別支援学級合同キャンプに参加し、「心を合わせて」を合い言葉に他校の生徒とともに宿泊学習を行い、今年度の校外学習がすべて終わりました。

今回の校外学習では、どの学年にも核となるキーワードがあったように思えます。1年生のキーワードとなっていた言葉は「自覚」、2年生は一歩進んで自覚から「自立」へ、そして、3年生は「誇り」だったのではないかと、思います。それは、船橋中学校の代表学年としての「誇り」であり、1・2年時に様々な行事を乗りこえてきた中で培ってきた経験の集大成として、この修学旅行をみんなでやり遂げることに対する「誇り」でもあったと思います。

普段とは全く違う環境の中で集団が一斉に行動する校外学習は、それぞれの子供たちにとって様々な困難があったと思います。無事に帰ってきて当たり前、と言われる行事ですが、いつもと違う場所には、いつもと違う危険がたくさんあります。どの学年の生徒も一人一人が普段にはない気配りや配慮をしながら行動することをこころがけていました。その結果、お互いの心の距離も縮まり、多くの思い出を作って、全員が元気に帰ってくることができました。

現在、どの学年も新聞や掲示物の作成をしながら、校外学習の成果を振り返る活動を行っています。その内容は、1年生は1年生、2年生は2年生の成長段階に応じた活動になっています。特に3年生は、毎年3割くらいの生徒が卒業文集の題材として修学旅行を選んでいるといえますから、活動の成果を見るのがとても楽しみです。

これまで、校外学習の準備から本番、振り返り活動に至るまで、子供たちは一所懸命に取り組んできました。私たち教職員も、子供たちがこの行事を乗りこえていく中で、大きく成長する姿を目の当たりにすることができました。どの学年のどの生徒も形に表れるものは違っても、それぞれが少しずつ成長できたのは確かだと思います。この後、面談等で学校においでの際は、生徒の活動の成果をぜひご覧になっていただきたいと思います。

## 生徒集会 6.22 ～生徒総会その後～

以前この紙面で「生徒総会」の様子をお伝えしましたが、先週の金曜日に「生徒集会」が行われ、各常任委員会の委員長の話と、それぞれの学年の学年委員長から「今年度の各学年の目標」が発表されました。

それぞれの学年の目標と、各学年委員長の言葉の中で特に印象に残ったところを紹介したいと思います。各学年の委員長の言葉を聞きながら、校外学習を乗り越えた成果は大きいとあらためて感じました。

### 【1学年】「仲間と助け合い、みんなが楽しい学校生活をおくれるような活動をしよう。」

→生徒総会や部活説明会での上級生の姿を手本にして、先輩のようになれるよう頑張ります。

### 【2学年】「自覚・責任・信頼」

→校外学習をやり遂げたこの言葉を合い言葉として頑張ります。

### 【3学年】「日進月歩 ～今こそ成長の時～」

→最後の1年間、1日1日を大切にするとともに乗りこえていきます。

今年度、過去最高の船中を作って卒業していくことを約束します。

